

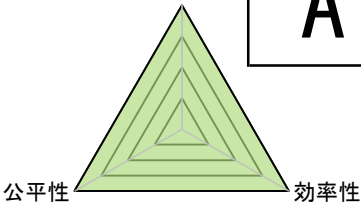

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010101

事業名		ゼロカーボンハウス促進補助		担当部署	環境衛生部 ゼロカーボン推進室		
根拠法令		苫小牧市環境基本条例					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性 効率性	総合評価  <b>A</b>	
	予算・決算額(A)		120,000	102,568			110,000
	(A)の内訳	国道支出金	111,600	101,326			102,400
		地方債					
		その他	7,900	1,242			
		一般財源	500				7,600
	人件費(B)		13,387	13,387			13,387
	事業費計(A+B)		133,387	115,955			123,387
事業の目的		ゼロカーボンシティの実現に向けた環境負荷の少ないまちづくりに寄与することを目的とし、住宅用省エネ・再エネ機器を設置する市民に対し、補助金を交付することにより、対象システムの普及促進を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>対象機器及び補助内容</p> <p>要綱に定める対象設備の要件を満たしていることを条件に、対象機器の購入・設置に要する費用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ZEH 55万円/以内</li> <li>2 ZEH+ 100万円/以内</li> <li>3 太陽光発電システム 7万円/kW</li> <li>4 定置用リチウムイオン蓄電池（3の付帯設備）価格×1/3（上限額）</li> <li>5 エコキュート 価格×1/4（上限額18万円）</li> <li>6 定置用リチウムイオン蓄電池（4の非対象者）価格×1/10（上限額12万円）</li> <li>7 ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）価格×1/10（上限額4万円）</li> <li>8 ビークルツーホーム（V2H） 価格×1/10（上限額6万円）</li> <li>9 給電装置 価格×1/10（上限額3万円）</li> </ol>					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		補助金交付件数	件	180	254	303	
項目評価		高 → 低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●					ゼロカーボンシティの実現に向けた補助制度であり、対象機器の普及が進んでいることから、「4」としました。
効率性		●					対象機器をゼロカーボンの実現に資するものとし、事業を実施していることから、「4」としました。
公平性		●				補助金交付は先着順ですが、すべての希望者に補助を行うことができたことから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		本事業は、国の交付金を活用しており、交付要件が複雑であるため、今後も申請者にわかりやすく周知することが必要と考えています。				事業終了の 予定の有無  無	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010102

事業名		公害測定機器整備事業		担当部署	環境衛生部 ゼロカーボン推進室				
根拠法令		環境基本法、大気汚染防止法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	8,503	8,503	11,770			<div style="text-align: center;"> <p>有効性</p> <p>公平性 効率性</p> </div>	A	
	(A)の内訳	国道支出金	7,029	7,029					10,500
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,474	1,474					1,270
	人件費(B)	720	720	720					
	事業費計(A+B)	9,223	9,223	12,490					
事業の目的		公害の未然防止や市民の健康と安全な生活環境の確保を目的として、大気汚染常時監視測定局内の老朽化した自動測定機の更新を行う事業です。							
事業の内容		<p>各種環境測定に必要な機器の整備を行い、市内環境状況の把握と市民への情報提供に努めています。令和6年度は、大気双葉局のオゾン測定装置、硫酸酸化物質・浮遊粒子状物質測定装置及び大気明野公園局の風向風速計の更新を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【双葉局】硫酸酸化物質・浮遊粒子状物質測定装置</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【双葉局】オゾン測定装置</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【明野公園局】風向風速計</p> </div> </div>							
SDGs17の目標		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div>							
実施結果(活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		大気汚染常時監視実施率(年間有効測定日数/365×100)	%	99	99	99			
		大気環境基準達成率	%	91	91	91			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				老朽化及び交換部品供給停止による長期間の欠測リスクが、機器更新により解消したことから、「4」としました。			
効率性		●				補助金を活用して機器等を整備することができたことから、「4」としました。			
公平性		●				市内全域を対象とした常時監視体制を維持できたことから、「4」としました。			
事業の課題今後の方向性		他の大気汚染常時監視測定装置についても老朽化が進んでいるため、今後も交付金などを活用しながら計画的な機器更新を行っていきます。				事業終了の予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010103

事業名		ゼロカーボン推進啓発事業		担当部署	環境衛生部 ゼロカーボン推進室						
根拠法令		苫小牧市環境基本条例									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価					
	予算・決算額(A)	3,392	3,290	2,622				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>			
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他	3,200	3,290					2,300		
		一般財源	192						322		
	人件費(B)	7,848	7,848	7,848							
事業費計(A+B)	11,240	11,138	10,470								
事業の目的	ゼロカーボンシティの実現に向けた地球温暖化対策と環境保全に対する、市民の意識醸成を図ることを目的としています。										
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>ゼロカーボンや環境保全に対する市民への意識啓発として事業を実施しました。包括連携協定に基づく取組として、イオンモール苫小牧でのデジタルサイネージを活用したイベント広報など、創意工夫を凝らして啓発事業を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Instagram運用</li> <li>2 せせらぎスクール</li> <li>3 自然体験活動（雨天のため中止）</li> <li>4 親子でエコ・クッキング教室</li> <li>5 エコドライブ情報局</li> <li>6 風呂敷講座</li> <li>7 突撃！とまエコ企業</li> <li>8 ゼロカーボン講演会</li> </ol>										
実施結果 (活動指標)				単位	R4年度	R5年度	R6年度				
	啓発イベント参加人数			人	228	406	284				
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							本事業の実施により、ゼロカーボンや環境保全に対する意識の醸成が図られていることから、「4」としました。		
	効率性		●						定員に満たないイベントもあったが、一定の啓発効果が得られたことから、「3」としました。		
公平性	●				事業の申込を抽選とし、様々な媒体により市民周知を行うことができたことから、「4」としました。						
事業の課題 今後の方向性	ゼロカーボン×ゼロゴミ大作戦！事業および本事業を通じて得た成果や課題を活かし、今後の啓発事業に反映させ、市民の意識変革や行動変容を図っていきます。					事業終了の 予定の有無					
						無					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010104

事業名		ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！（環境保全事業）		担当部署	環境衛生部 ゼロカーボン推進室		
根拠法令		苫小牧市環境基本条例					
予算・決算 （千円）	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	1,937	1,788	-			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	500	500			
		一般財源	1,437	1,288			
	人件費(B)	17,634	17,634	-			
事業費計(A+B)	19,571	19,422	-				
事業の目的		今回の「ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！」は、<CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> （コツコツ）いこう♪次世代のために>をスローガンに掲げ、令和5～6年度の2か年で事業を実施します。ゼロカーボンシティ実現のため、省エネ・創エネをはじめ、ごみの減量・リサイクルの推進、自然環境保全など多面からアプローチし、まちぐるみで様々な事業を展開します。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>1 広げよう！ゼロカーボンとみんなの暮らし 私たちの身近なところから、2050年にCO<sub>2</sub>の排出を実質ゼロにすることを指す「ゼロカーボン暮らし」を広げるための啓発イベント等を開催しました。省エネルギーの推進や再生可能エネルギーに関する啓発、出前講座や環境教育を実施しました。</p> <p>2 守ろう！豊かな自然とみんなの未来 未来に苫小牧の素晴らしい自然環境を引き継ぐため、啓発イベントを実施するなど環境保全意識の啓発に取り組みました。</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		参加人数（延べ）	人	-	31,093	40,043	
		協力事業者数（延べ）	事業者	-	303	323	
		ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！（清掃事業）等も含む					
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				本事業の実施により、ゼロカーボンや環境保全に対する意識の醸成が図られていることから、「4」としました。	
効率性		●				事業者の協力や市民参加により効率的に実施を行えたことから「4」としました。	
公平性		●				事業の申込を抽選とし、市民周知を行うことができたことから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		令和6年度には啓発イベントの他、市内全小中学校37校などにおいて出前講座を実施しました。これらにより市民への意識付け、とりわけ次世代を担う子どもたちへの啓発が一定程度進んだものと考えています。本事業は令和6年度をもちまして終了しますが、令和7年度以降につきましても、ゼロカーボン推進啓発事業としてイベントを継続し市民の意識醸成を図っていきます。				事業終了の 予定の有無	
						有 (令和6年度)	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010105

事業名		市有施設太陽光発電設備設置補助事業			担当部署	環境衛生部 ゼロカーボン推進室																			
根拠法令		地球温暖化対策の推進に関する法律、苫小牧市環境基本条例																							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価																		
	予算・決算額(A)	10	10	-			C																		
	(A)の内訳	国道支出金																							
		地方債																							
		その他																							
		一般財源	10	10																					
	人件費(B)	8,642	8,642	-																					
事業費計(A+B)	8,652	8,652	-																						
事業の目的		ゼロカーボンシティを実現するため、PPAモデル（第三者所有モデル）を活用して市有施設に太陽光発電設備を設置し、再エネ電力を導入します。																							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>本市は2021年8月にゼロカーボンシティへの挑戦について宣言し、脱炭素に資する様々な取組を推進してきました。今回のPPAを活用した市有施設への太陽光発電設備等の導入についてもその取組の一つであり、2050年までに確実にゼロカーボンシティを実現させるためには必要不可欠な事業です。</p> <p>また、本事業は環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の重点対策加速化事業による補助を活用することでPPA事業者が各施設に設置する太陽光発電設備の費用に充てることで市がPPA事業者を支払う電気料金単価の抑制につながることからコストメリットも期待できます。</p>																							
実施結果 (活動指標)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PPA方式による太陽光発電設備の導入</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	PPA方式による太陽光発電設備の導入	件	-	9	0										
指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度																					
PPA方式による太陽光発電設備の導入	件	-	9	0																					
項目評価		高 → 低				評価の理由																			
		4	3	2	1																				
有効性				●		優先交渉権者との協議不調により事業未実施でしたが、オンサイトによる市有施設への太陽光発電導入についての課題が判明したため「2」としました。																			
効率性					●	優先交渉権者との協議不調により事業未実施のため「1」としました。																			
公平性		●				プロポーザル方式とし、広く事業者から募集を行ったことから「4」としました。																			
事業の課題 今後の方向性		プロポーザルにより受託候補者を選定し、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナへの導入に向けて設置方法等について協議を重ねましたが、建物の耐荷重の観点から安全性を確保できないと判断し設置を見合わせました。オンサイトでの太陽光発電設備の導入について、現時点では建物の構造により設置が難しいなど様々な課題があるため他の施設の候補がない状況ですが、今後は新技術による設置の可能性を探っていきます。				事業終了の 予定の有無																			
						有 (令和9年度)																			
特記事項																									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010106

事業名		脱炭素先行地域づくり事業			担当部署	環境衛生部 ゼロカーボン推進室			
根拠法令		地球温暖化対策の推進に関する法律、苫小牧市環境基本条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	39,892	36,463	130,466				A	
	(A)の内訳	国道支出金	39,892	36,463					130,466
		地方債							
		その他							
		一般財源							
	人件費(B)	10,803	10,803	10,803					
事業費計(A+B)	50,695	47,266	141,269						
事業の目的	<p>本事業は、環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（脱炭素先行地域づくり事業）」を活用し、令和12年度までに勇払市街地エリアでの電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを目指すことを目的とします。</p>								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>本計画では、ものづくり産業が集積する西部工業基地内の産業施設において、大規模に太陽光発電を導入して自家消費するとともに、余剰再エネ電力を隣接する勇払市街地エリアへ供給することで、産業部門の脱炭素化が民生部門へ波及するPPAモデルを構築します。また、企業等の需要家が発電量に応じた対価として拠出する地域振興費を原資として、人口減少や高齢化などの地域課題の解決に取り組みます。</p> <p>令和6年度では、勇払地区の市民を対象として、住宅用省エネ・再エネ機器の設置に国庫支出金を間接交付します。対象機器は、ZEH+（1,000千円/戸）、太陽光発電システム（補助率2/3）、蓄電池（補助率2/3）、高効率給湯器（補助率2/3）とします。また本計画を着実に進めるために、当該分野における専門性を有する者に執行事務を外部委託（補助率10/10）します。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	補助金交付件数		件	-	-	19			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
有効性	●				脱炭素先行地域計画に基づき、勇払市街地エリアのCO <sub>2</sub> 排出量を削減するための取組を進めたため、「4」としました。				
効率性	●				本事業を進めるにあたり、専門業者に委託し効率的な業務を実施したことから、「4」としました。				
公平性		●			制度上、対象地域は限定されるものの、市内のCO <sub>2</sub> 排出量の削減に寄与することから、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	脱炭素先行地域計画の達成のため、今後も計画どおり事業を実施していく必要があります。					事業終了の 予定の有無			
						有 (令和10年度)			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 02自然環境保護費

事務事業番号 04010201

事業名		アライグマ・エゾシカ等生活環境被害対策事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	19,309	16,586	15,768				
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源	19,309	16,586	15,768				
	人件費(B)	31,646	31,646	31,646				
事業費計(A+B)	50,955	48,232	47,414					
事業の目的		特定外来生物であるアライグマ及び市街地出没対策としてエゾシカを捕獲することで、地域の生態系等の保全を行うとともに、交通事故や生活環境被害、家庭菜園及び農産物への被害を低減します。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>【アライグマ】</p> <p>1 委託による捕獲 前年までの事業で蓄積したデータを参考に、小河川の周辺など捕獲効率の高い地点や農地・市街地等に侵入してくる経路等に罠を設置し、アライグマの捕獲を行いました。</p> <p>2 罠の貸出しによる捕獲 家庭菜園や農産物等の被害があった市民及び企業からの要請に基づき、罠を貸出し、アライグマの捕獲を行いました。</p> <p>3 捕獲期間と場所の拡大による捕獲 北海道が設定するアライグマ春期捕獲推進期間における捕獲（3月～6月）を実施しました。</p> <p>【エゾシカ】</p> <p>1 委託及び直営捕獲 エゾシカによる生活環境被害対策を目的に令和4年度から市街地周辺におけるエゾシカ捕獲事業を実施しています。令和5年度はペットフードのほか食肉加工を行い、令和6年度からは、令和5年度の取組に加えジビエとしての活用も行いました。また、北海道が推進するエゾシカ一斉捕獲期間（2～3月）に直営で9頭を捕獲しました。</p> <p>2 その他 エゾシカ対策円卓会議、道路脇の草刈り、エゾシカ関連イベントを開催しました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		アライグマ捕獲頭数（委託）		頭	249	196	202	
		エゾシカ捕獲頭数（委託）		頭	156	173	77	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				委託の捕獲事業以外に、アライグマ、エゾシカ共に直営で春季管理捕獲を行ったことにより、一定数の捕獲ができており、生活環境被害や農業、家庭菜園被害の拡大防止に効果が出ていると考えられることから「4」としました。		
効率性			●			今期はエゾシカの市街地出没が少なかったことから捕獲頭数も減少しましたが、今後個体数の増加が懸念される中、本事業を中止した場合の影響は大きいと考えられることから「3」としました。		
公平性		●				地域の生態系、生物多様性の保全に資すること及び生活環境被害、農業被害、交通事故等全市的なエゾシカ問題に対応していることから「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		本事業によりアライグマ及びエゾシカを一定数捕獲することで、生態系等の維持や農業被害及び生活環境被害の低減につながることから、本事業の継続が必要と考えます。今後は事業の効率性を高めながら、エゾシカ等野生鳥獣の更なる有効活用についても検討してまいります。また、近年市街地への出没が増加傾向にあるヒグマについては、ゾーニングや市街地捕獲の考え方を整理するとともに、ドローンによる現地調査を行いヒグマの行動圏の把握や緊急対応に活用します。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 02自然環境保護費

事務事業番号 04010202

事業名		苫小牧市生物多様性地域戦略策定・合意形成事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令		生物多様性基本法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		11,946	11,946			-		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	11,946	11,946					
	人件費(B)		3,601	3,601			-		
事業費計(A+B)		15,547	15,547	-					
事業の目的		生物多様性保全の視点から市の政策等を把握し、持続可能で真に豊かな社会を実現するための具体的な目標を定め、市、事業者、市民及び民間団体との連携・協働の下に豊かな生物の多様性を保全し、その生態系サービスを将来にわたって享受できる自然と共生する社会の実現を図ることを目的とします。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>【苫小牧市生物多様性地域戦略素案策定】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>情報の収集整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に行った自然条件および社会条件に関する文献・資料の追加調査・整理</li> <li>ステークホルダー等へのヒアリング等による情報収集・整理</li> </ul> </li> <li>ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民や学生、企業などを対象としたワークショップの開催</li> <li>ワークショップで収集した意見を戦略素案に反映（施策や将来像へ反映）</li> </ul> </li> <li>庁内関係部署へのヒアリングによる合意形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な施策及び取組について関係課へのヒアリングを実施</li> <li>ヒアリングを通じて必要な施策及び取組について収集</li> </ul> </li> <li>戦略素案策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに収集した情報やステークホルダーへのヒアリング、ワークショップでの意見等を戦略に反映させた素案の策定</li> </ul> </li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				生物多様性地域戦略の策定は、私たちの生存基盤であり、水や空気、快適な環境、農林水産物等の様々な生態系サービスを提供する本市の生物多様性の保全及び持続可能な利用に資することから「4」としました。			
効率性			●			本戦略の策定に向けては、庁内外の様々な関係者との合意形成、方針の共有等が必要であり、地域戦略への反映には一定の時間が必要であること、また、戦略策定後においても施策や取組の効果が表れるには一定の期間を要することから効率性については「3」としました。			
公平性		●				生物多様性地域戦略の策定により、様々な生態系サービスを提供する本市の生物多様性の保全及び持続可能な利用に係る考え方が担保され、すべての市民や企業有益であることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		生物多様性地域戦略の取組を社会に浸透させ、実現していくためには、一人でも多くの市民に生物多様性や本戦略について知ってもらうことが重要です。また、施策の計画的な実行が必要と考えます。このため、戦略策定以降、市民等への周知を目的とした普及啓発事業（講演会等）の開催、各施策の進行管理を行います。				事業終了の 予定の有無  有 (令和6年度)			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020101

事業名		子育て世代包括支援センター事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		母子健康法						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>		
	予算・決算額(A)		1,821	1,508			1,933	
	(A)の内訳	国道支出金	1,432	1,135			1,641	
		地方債						
		その他	300	269				
		一般財源	89	104			292	
	人件費(B)		39,504	39,504			39,504	
	事業費計(A+B)		41,325	41,012			41,437	
事業の目的		母子保健や育児に関する相談体制を構築し、妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援を実施します。また、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供や相談等により、母子の心身状況や養育環境等を把握するとともに、支援が必要な家庭への適切なサービス提供につなげます。						
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>1 利用者支援事業（こども家庭センター型）として下記を実施しました。</p> <p>(1) 妊娠期から子育て期にわたる母子保健、育児に関する相談                  (2) 「とまっこファイル」を活用した子育てに関する情報提供                  (3) 「とまっこアプリ」を活用した子育ての情報配信、成長記録や予防接種スケジュール管理                  (4) 特に支援を要する家庭について、児童福祉機能と連携した相談支援</p> <p>2 こんにちは赤ちゃん事業（乳幼児全戸訪問事業）として下記を実施しました。</p> <p>(1) 家庭訪問                  ア 母親の妊娠・出産経過を確認し、産後の母体についての必要な助言、指導                  イ EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）を用いた母親の精神面の状況把握と支援                  ウ 新生児・乳児の発育や発達を観察し、必要な助言・指導                  エ 生活面や育児面の状況把握と育児不安に対する支援                  オ 活用できる社会資源情報や子育て支援情報のリーフレット提供                  カ 健診、予防接種、電話相談等について説明</p> <p>(2) 継続支援ケースの早期発見と支援                  (3) 訪問者の研修                  専門知識・技術を図るため、赤ちゃん訪問報告学習会とケース対応会議を定期的に関催</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		相談件数（妊娠・出産・子育て）		件	633	632	571	
		ケアプラン作成数		件	425	449	457	
		こんにちは赤ちゃん事業 訪問実施率		%	97.1	95.9	95.5	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●			妊娠期・子育て期における様々な相談が寄せられており、特に支援を要する家庭においても児童福祉機能と連携して相談支援を実施することができ、切れ目のない支援に寄与しているため、「4」としました。			
効率性		●			とまっこアプリにおいて、他課の情報も含めた妊娠・出産・子育てに関する情報を広く配信し、また、情報配信の対象月齢を絞るなど効率的な配信も行うことができたため「4」としました。			
公平性		●			母子健康手帳交付時には必ず面談し、丁寧に聞き取りを行いながら相談に応じ、こんにちは赤ちゃん事業や児童福祉機能での支援を含めた継続的な支援につなげることができたため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		今後も安心して子育てができるよう、随時相談に応じ支援していくとともに、特に支援を要する家庭を把握した場合は、児童福祉機能と連携した相談支援を継続します。					事業終了の 予定の有無	
		参考：苫小牧市出生数の推移 〔令和4年〕959人 〔令和5年〕897人 〔令和6年〕779人					無	
特記事項		令和7年度から「こども家庭センター事業」に事業名変更						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020102

事業名		父子健康手帳交付事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	240	185	-				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	200	185					
		一般財源	40						
	人件費(B)	882	882	-					
事業費計(A+B)	1,122	1,067	-						
事業の目的	父子健康手帳の交付、父親への子育て講座を実施し、父親が育児に関心を持ち、積極的に子育てに関わることで、母親の子育ての孤立化を防ぐことを目的とします。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>1 父子健康手帳の交付 妊娠や育児に関わる内容が記載された父子健康手帳を活用し、妻の妊娠時に父親になる意識を持っていただきました。</p> <p>2 子育て応援教室「おとうさんといっしょ！」 7か月～1歳6か月児とその父親を対象に実施しました。 (1) 保育士による親子遊びの紹介 (2) 保健師の講話 (3) 手形アート作り</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	父子健康手帳の交付率		%	97.3	96.8	95.0			
	おとうさんといっしょ開催数		回	3	2	2			
	おとうさんといっしょ参加組数		組	53	51	37			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●				参加者アンケートでの満足度が高く、参加前後の「育児への関心」や「子どもへの接し方の自信」においてもプラスに変化していたため、「4」としました。			
	効率性		●			大半が電子申請での申込であったことから利便性は高かったと考えますが、夏の開催日は暑さを避けるためか申込自体が少なかったため、「3」としました。			
公平性	●				広報や4か月・10か月健診の案内にリーフレットを同封する等、広く周知を図ることができたことから、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	令和5年10月から「とまっこアプリ」の運用を開始し、紙媒体での父子健康手帳の機能をアプリへ移行したことから、手帳の交付は終了しました。おとうさんといっしょ！は実施時期・内容を一部変更し、夫婦で子育てが積極的に行われるきっかけづくりを継続していきます。					事業終了の 予定の有無			
						有 (令和6年度)			
特記事項	令和7年度から母子保健経費に統合								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020103

事業名		新生児聴覚検査助成事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令		母子健康法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性	総合評価  <b>A</b>			
	予算・決算額(A)		2,580	2,072			2,460		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
	一般財源		2,580	2,072			2,460		
	人件費(B)		2,409	2,409			2,409		
事業費計(A+B)		4,989	4,481	4,869					
事業の目的		聴覚障害の早期発見・早期療育が図られるよう、新生児聴覚検査に係る費用について一部公費負担を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標 		新生児聴覚検査に係る初回検査の費用を一部公費負担（上限3,000円）しました。							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		新生児聴覚検査費用助成人数			人	804	809	691	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●				新生児期に検査を受診することで、早期発見・早期療育・早期支援につながることから、「4」としました。		
		効率性	●				令和6年度は、再検査34名のうち、2名の難聴がみつきり、早期発見・支援につなげることができたため、「4」としました。		
公平性	●				全ての新生児が対象であるため、「4」としました。なお、聴覚検査受診票の交付時に、検査の必要性を周知しています。				
事業の課題 今後の方向性		一定の成果を得られていますが、周知の徹底を図り確実な検診の実施につなげていきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020104

事業名		苦小牧看護専門学校建設費補助		担当部署	健康こども部 健康支援課					
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性	総合評価  <b>A</b>				
	予算・決算額(A)		10,453	10,453			10,256			
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他								
	一般財源		10,453	10,453			10,256			
	人件費(B)		144	144			144			
事業費計(A+B)		10,597	10,597	10,400						
事業の目的		平成17年に校舎を建て替えた苦小牧看護専門学校の建設費を補助することで、より専門的かつ高度な教育環境を整備し、地域で看護の専門職の育成を図ります。								
事業の内容  SDGs17の目標		 <p>苦小牧看護専門学校の建設費を補助しました。</p> <p>※建設費補助総額 平成18年度～令和7年度 242,597千円</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		苦小牧看護専門学校建設費補助金		千円	10,847	10,651	10,453			
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●						充実した施設での看護職員養成の場を確保できているため、「4」としました。	
		効率性	●						高度な教育環境にて、地域で看護の専門職の育成を図っているため、「4」としました。	
公平性	●				看護職員養成の場として広く利用されるため、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		東胆振圏域の看護師の養成や人材確保につなげていきます。					事業終了の 予定の有無			
							有 (令和7年度)			
特記事項										

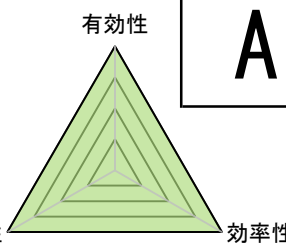

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020105

事業名		妊産婦支援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		12,063	11,229			16,339		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金	6,029	5,611			10,486		
		地方債							
		その他							
		一般財源	6,034	5,618			5,853		
	人件費(B)		3,527	3,527			3,527		
事業費計(A+B)		15,590	14,756	19,866					
事業の目的		妊娠・出産・子育て期を切れ目なく支援するため、産婦健康診査や産後ケアを実施し、母子の心身状況を把握するとともに、支援が必要な家庭への適切なサービス提供につなげます。							
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30px; text-align: center;">  </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>1 産前・産後サポート事業                      妊娠・出産・子育て期における地域のアドバイザーを養成し、悩みの解消や仲間作りのきっかけづくりを行います。多胎家庭のもとへ育児サポーターを派遣し、外出時の補助や、日常の育児に関する介助を行いました。                      (1) プレママ・ママの安心訪問事業アドバイザー養成講座開催                      (2) アドバイザーによる「プレママ・ママの安心訪問事業」（妊婦と産後1年未満の産婦）                      (3) 「Mom'sサロンOasis」（妊婦と産後3か月から産後7か月未満の産婦と乳児）                      (4) 多胎産後サポート事業</p> <p>2 産後ケア事業（対象：産後1年未満の産婦と生後1年未満の乳児）                      産後に支援を必要とするすべての母子に対して、助産師等が訪問もしくは、母子で助産院に来院し心身のケアや育児支援を行いました。                      令和6年8月からは通所型ロング（対象：生後4か月未満）を開始しました。</p> <p>3 産婦健康診査事業（対象：全産婦）                      対象者1人あたり、産後2週間及び1か月の最大2回分の産婦健康診査にかかる費用（1回あたり上限5,000円）を助成しました。受診結果がハイリスクと判定された場合、委託医療機関から連絡票を受取り、保健師による切れ目ない支援へつなげました。</p> <p>4 低所得妊婦に対する初回産科受診料支援事業                      市民税非課税世帯等低所得の妊婦について、経済的負担の軽減を図るとともに、状況を継続的に把握し必要な支援につなげるため、初回の産科受診料を助成しました。</p> </div> </div>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		産後ケア事業延利用人数			人	729	812	787	
		産婦健康診査費用助成件数			件	890	824	870	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				産婦健康診査事業を実施することで、医療機関との連携をスムーズに図ることができました。精神面で不安定な産婦に早期に介入でき、産後ケア事業等の困りごとに寄り添った支援につなげることができたため、「4」としました。			
効率性		●				産婦健康診査等で医療機関との連携を行い、母の精神面の変化を観察しながら、訪問や電話で支援を実施することができた。また、産後ケア事業者と連携して母子の状況を共有して支援を実施できたため、「4」としました。			
公平性		●				母子健康手帳の交付時に、必ず産婦健康診査や産後ケア事業についての丁寧な説明を行っています。赤ちゃん訪問でも産後ケア事業の紹介を行っているため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		産後ケア事業は、利用者の利便性を考慮し、令和7年度から事前申請を不要としました。利用状況の変化をみながら、事業の周知や事業者との連携を継続していきます。 産婦健康診査は、産後2週間健診の開始により、必要な産婦へより細やかなサポートが可能となりました。今後も医療機関との連携を密にしながら、必要な方への早期介入・支援を実施していきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020106

事業名		特定不妊・不育症等治療助成事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性 効率性	総合評価  <b>A</b>
	予算・決算額(A)		4,900	4,051	5,580		
	(A)の内訳	国道支出金	1,014	933	1,314		
		地方債					
		その他	3,886	2,859	3,800		
		一般財源		259	466		
	人件費(B)		3,385	3,385	3,385		
	事業費計(A+B)		8,285	7,436	8,965		
事業の目的		<p>子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な不妊治療を開始できるよう、不妊検査に係る費用を一部助成し、不妊原因の早期発見につなげます。 不妊治療及び不育症に係る検査・治療に対し助成することで、子どもを望む夫婦の経済的負担軽減を図ります。</p>					
事業の内容  SDGs17の目標 		<p>【コウノトリ検査費（早期不妊検査）助成】 保険医療機関にて行った不妊検査に要した費用について、夫婦1組につき3万円を上限に助成しました。</p> <p>【不育症検査・治療費助成】 不育症の検査・治療にかかった費用から、北海道が実施している不育症治療費助成の額を引いた額に対し、5万円を上限に費用を助成しました。</p> <p>【先進不妊治療費助成】 医療保険適用の不妊治療と併用して実施した先進不妊治療に係る治療費と交通費の一部を助成しました。治療費は不妊治療でかかった費用（最大5万円）から、7割を上限に助成しました。交通費は実費（距離ごとに上限有）の3分の2の費用を助成しました。 ※治療費分の助成額の最大値は3万5千円</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		不妊検査費助成件数	件	102	84	76	
		不育症治療費助成件数	件	4	1	0	
		先進不妊治療費助成件数	件	-	14	58	
項目評価		高 → 低 4 3 2 1	評価の理由				
有効性		●	検査等に要する費用を助成することで、不妊や不育の原因の早期発見につなげることができ、必要に応じて適切な治療を開始できたため、「4」としました。				
効率性		●	手続きに時間を要することなく、より少ない人工で効果が得られているため、「4」としました。				
公平性		●	対象者は申請を行うことで補助金の交付が受けられるため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		今後も、子どもを望む夫婦が早期に検査を受けるきっかけづくりとして事業を推進していきます。				事業終了の 予定の有無  無	
特記事項							

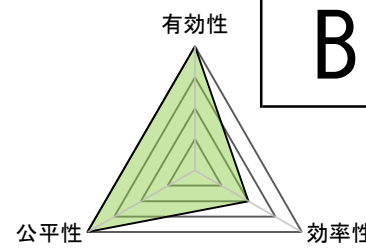

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020107

事業名		出産・子育て応援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>B</b>
	予算・決算額(A)		86,835	80,359	100,931		
	(A)の内訳	国道支出金	72,448	66,574	100,695		
		地方債					
		その他					
		一般財源	14,387	13,785	236		
	人件費(B)		8,763	8,763	8,763		
	事業費計(A+B)		95,598	89,122	109,694		
事業の目的		妊娠から出産、子育て期まで一貫して身近に寄り添い、様々なニーズに即した必要な支援につなぐため、伴走した相談支援の充実を図るとともに経済的な支援を一体的に実施します。					
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>【伴走型相談支援策】 妊娠届出時からすべての妊婦・子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しをたてるための面談等を通じて必要な支援等へつなげました。</p> <p>【経済的支援策】 妊娠届を提出した妊婦及び出生した子の養育者の方を対象に面談等を行い、妊娠時5万円・出産時5万円を給付しました。 (1) 出産応援ギフト：妊娠届出後に5万円給付 (2) 子育て応援ギフト：乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問）後に5万円給付</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		出産応援ギフト給付件数	件	1,050	1,194	826	
		子育て応援ギフト給付件数	件	607	1,098	747	
項目評価		高 → 低 4 3 2 1	評価の理由				
有効性		●				出産・育児等の見通しをたてるための面談などや経済的支援を実施することで、安心して出産・子育てができる環境を整備することができたため、「4」としました。	
効率性				●		すべての妊婦・子育て家庭への面談やアンケートに加え、出産・子育て応援ギフトの通知・申請・現金給付を都度行う必要があるため、「2」としました。	
公平性		●				すべての妊婦・子育て家庭を対象に実施しているため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		引き続き、妊婦や養育者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを推進します。				事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項		令和7年度から「妊婦のための支援給付事業」に事業名変更					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020108

事業名		骨髓ドナー助成事業		担当部署	健康こども部 健康支援課					
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)	500	90	500				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>		
	(A)の内訳	国道支出金		45					250	
		地方債								
		その他	375	45						
		一般財源	125						250	
	人件費(B)	720	720	720						
	事業費計(A+B)	1,220	810	1,220						
事業の目的	ドナーの経済的・時間的負担を軽減することにより、骨髓移植の推進を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標	<p>【骨髓ドナー助成制度】</p> <p>1 助成対象者 下記の(1)又は(2) (1) ドナー向け助成金 骨髓等の提供に最終同意をされた方で休暇制度を受けられないドナー (2) 事業所向け助成金 骨髓等の提供に最終同意をしたドナーへ休暇を付与した事業所</p> <p>2 助成額 骨髓等の提供に要した日数（通院・入院）又は休暇日数×1万円（最大10万円）</p>									
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度				
	助成件数		件	-	-	1				
項目評価	高 → 低				評価の理由					
	4	3	2	1						
	有効性	●					助成を通じ、骨髓移植の推進に寄与したことから「4」としました。			
	効率性		●				必要最低限の人員で事業を実施していることから「3」としました。			
公平性		●		ドナー本人だけでなく、ドナーが就業する事業所も助成対象としていることから「3」としました。						
事業の課題 今後の方向性	助成件数の増に向け、制度の周知を図ります。					事業終了の 予定の有無				
						無				
特記事項										


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020109

事業名		産後ケア施設整備費補助		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性	総合評価  <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	1,534	1,533	-			
	(A)の内訳	国道支出金	766	766			
		地方債					
		その他					
	一般財源	768	767				
	人件費(B)	360	360	-			
事業費計(A+B)	1,894	1,893	-				
事業の目的	産後ケア業務を委託している事業者の施設が老朽化し、ケアの実施に支障を来すことから、国補助を活用し、施設整備費用に対し補助を行います。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>委託事業者が産後ケアの通所型ロングを新たに開始することに伴う施設整備費用を補助しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備工事（床暖房パネル撤去等）</li> <li>・ 大工工事（カーペット剥がし等）</li> <li>・ クロス工事（クッションフロア貼り等）</li> <li>・ 電気工事（エアコン取付等）</li> </ul>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	整備費用		千円	-	-	1,533	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性	●			設備を改修したことにより、業務の円滑な実施が図られたことから、「4」としました。		
	効率性	●			時間を要することなく、迅速に改修を行うことができたことから、「4」としました。		
公平性	●			産後ケアを必要とする方が広く利用できる施設であることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性						事業終了の 予定の有無	
						有 (令和6年度)	
特記事項							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020201

事業名		緊急風しん抗体検査等事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令		予防接種法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	3,395	2,600	-				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金	220	894					
		地方債							
		その他							
		一般財源	3,175	1,706					
	人件費(B)	3,601	3,601	-					
事業費計(A+B)	6,996	6,201	-						
事業の目的	風しんの蔓延を防止するため、風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった世代（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）の男性を対象とし抗体検査及び予防接種を定期予防接種として実施します。（令和7年3月31日までの事業）								
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>抗体検査未受検者および予防接種未接種者への勧奨実施（勧奨はがきを送付）</li> <li>抗体検査を受け、抗体価が低いと診断された方には予防接種を実施（抗体検査及び予防接種の実施において本人の費用負担なし）</li> </ul> <p>【実施実績（累計）】</p> <p>対象者数20,484人（令和7年5月22日現在住民 対象者数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>抗体検査実施件数 6,845件（抗体検査実施率 約33%）</li> <li>うち予防接種必要件数 1,418件</li> <li>予防接種実施件数 1,135件（推定抗体保有率 約80%）</li> </ul>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	抗体検査実施率（累計）		%	29	32	33			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●						風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった世代が予防接種を受けることで、風しんのまん延防止・妊婦への感染防止につながることから、「4」としました。	
	効率性		●					対象者へ勧奨はがきを送付し、検査実施率は約33%ですが、推定抗体保有率は約80%に達しているため、「3」としました。	
公平性	●				対象者全員が抗体検査及び抗体がない場合の予防接種を受けられるため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	令和6年度までに抗体検査を実施した方に限り、令和9年3月31日までワクチン接種が可能となりました。					事業終了の 予定の有無			
						有 (令和6年度)			
特記事項	令和7年度以降は「予防接種経費」に統合								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020202

事業名		新型コロナワクチン定期接種事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令		予防接種法					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	208,327	75,024	-			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	144,868	51,676			
		一般財源	63,459	23,348			
	人件費(B)	7,525	7,525	-			
	事業費計(A+B)	215,852	82,549	-			
事業の目的	新型コロナウイルスによる重症化予防のため、ワクチン接種を実施します。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>新型コロナワクチンの予防接種は、令和5年度までは全額国負担による臨時接種として実施してきましたが、令和6年度からは秋以降の定期接種として実施することとなりました。</p> <p>1 接種対象者                      (1) 65歳以上の方                      (2) 60～64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方</p> <p>2 自己負担額                      3,300円（生活保護受給者は自己負担なし）</p>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	新型コロナワクチン定期接種人数		人	-	-	6,226	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性	●			定期接種の実施により、感染の拡大防止及び重症化予防が図られているため「4」としました。		
	効率性	●			苫小牧市医師会等と連携し、6,000人以上の方へ接種を実施することができたため、「4」としました。		
公平性	●			接種対象者に広報等により周知を行い、定期接種を実施することができたため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	今後も医師会及び医療機関と連携しながら、感染拡大防止と重症化予防を図っていきます。					事業終了の 予定の有無  有 (令和6年度)	
特記事項	令和7年度から「予防接種経費」に統合						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020203

事業名		予防接種健康被害救済制度事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令		予防接種法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性 	総合評価  <b>A</b>			
	予算・決算額(A)		47,538	47,538			3,725		
	(A)の内訳	国道支出金	46,893	46,894			3,031		
		地方債							
		その他							
		一般財源	645	644			694		
	人件費(B)		3,601	3,601			3,601		
事業費計(A+B)		51,139	51,139	7,326					
事業の目的		定期予防接種及び新型コロナウイルス臨時予防接種に起因する健康被害の認定を受けた方に対し救済を行います。							
事業の内容  SDGs17の目標  		定期予防接種及び新型コロナウイルス臨時予防接種に起因する健康被害の認定を受けた方に対し給付金を支給しました。							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●						予防接種の副反応による健康被害は極めて稀ではあるものの不可避免的に生じるため本事業は必要です。
		効率性	●						予防接種の副反応による健康被害は極めて稀ではあるものの不可避免的に生じるため本事業は必要です。
公平性	●				健康被害の認定を受けた方を対象に、認定内容に応じた給付を行いました。				
事業の課題 今後の方向性		健康被害の認定を受けた方の迅速な救済に向けて事務手続を実施します。				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項		健康被害の救済に係る事業であることに鑑み、活動指標は設定しません。							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020204

事業名		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業【繰越明許】		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		予防接種法						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性	総合評価  <b>A</b>		
	予算・決算額(A)	22,388	296	-				
	(A)の内訳	国道支出金	22,388	50				
		地方債						
		その他						
		一般財源		246				
	人件費(B)	72	72	-				
事業費計(A+B)	22,460	368	-					
事業の目的	新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、予防接種法に基づく新型コロナワクチンの臨時接種体制を整備します。							
事業の内容  SDGs17の目標  	令和5年度に市が設置した集団接種会場で行った予防接種において発生した感染性廃棄物の処分等を行いました。							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	ワクチン接種回数		回	184,587	78,768	-		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						感染性廃棄物を法令に従い処分するために必要な事業です。
	効率性	●						必要最低限の人件費で事業を実施しました。
公平性	●				法令に基づいて事業を実施しました。			
事業の課題 今後の方向性						事業終了の 予定の有無		
						有 (令和6年度)		
特記事項								

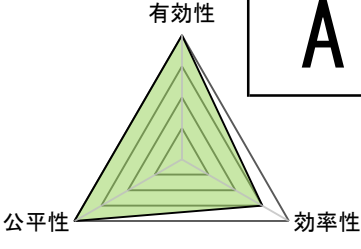

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020301

事業名		がん検診推進事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令		健康増進法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		5,773	4,457			5,709		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金	1,633	1,341			1,591		
		地方債							
		その他							
		一般財源	4,140	3,116			4,118		
	人件費(B)		4,644	4,644			4,644		
事業費計(A+B)		10,417	9,101	10,353					
事業の目的		国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」に基づき、がんに対する正しい知識、健康意識の向上を図り、がんの早期発見のため、がん検診の受診を促進します。							
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>がん検診受診率を向上させるために、特定の年齢に達した方々に対し、無料クーポン券の発送によるがん検診受診のきっかけづくりや受診勧奨を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>無料クーポン券発送                     <ol style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がん検診 20歳の方（4月1日時点）</li> <li>乳がん検診 40歳の方（4月1日時点）</li> </ol> </li> <li>受診勧奨及び再勧奨                     <ol style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がん及び乳がん検診クーポン券対象の未受診者等へ個別に受診勧奨</li> <li>胃がん・肺がん・大腸がん検診は対象を絞って個別に受診勧奨</li> </ol> </li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		クーポン券発送件数（子宮がん・乳がん合計）		回	1,668	1,689	1,633		
		がん検診受診勧奨及び再勧奨回数		回	6	5	5		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				がん検診の受診により、がんの早期発見、早期治療につながることから「4」としました。			
効率性			●			がん検診の有効性や受診料金の助成があることをわかりやすく記載した個別はがきによる受診勧奨を行った結果、約17%が受診行動につながったため、「3」としました。			
公平性		●				対象者全員に無料クーポン券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		今後も勧奨方法を工夫し検討しながら、受診率の向上に向けて取組を進めていきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

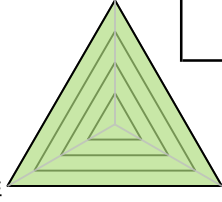

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020302

事業名		肝炎ウイルス検診推進事業			担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		健康増進法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)		6,474	6,138	7,568			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金	5,056	4,023	5,638				
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,418	2,115	1,930				
	人件費(B)		4,321	4,321	4,321				
事業費計(A+B)		10,795	10,459	11,889					
事業の目的		特定の年齢に達した方々に対し、肝炎ウイルス検診の受診を促し、肝炎ウイルスについての正しい知識を普及します。							
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>特定の年齢に達した方々へ無料クーポン券を発送し、肝炎ウイルス検診の受診勧奨を実施しました。</p> <p>【無料クーポン券対象者】 過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない、40・45・50・55・60・65歳（4月1日時点）の男女 ※B型、C型のいずれか一方の検診歴のある方は、検診歴のないウイルス型であれば受診可能</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		無料クーポン券発送件数		回	11,788	12,249	12,149		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				肝炎ウイルス検診の受診により、疾病の早期発見、早期治療につながることから、「4」としました。			
効率性		●				過去に当該肝炎ウイルス検診を受けたことのある方は、無料クーポンの対象者から除いて案内しているため、「4」としました。			
公平性		●				対象者全員に無料クーポン券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		無料クーポン券の発送により、肝炎ウイルス検診を受診する契機となり、引き続き啓発を図っていきます。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020303

事業名		こころの健康づくり事業		担当部署	健康こども部 健康支援課						
根拠法令		自殺対策基本法									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価					
	予算・決算額(A)		1,526	1,410			1,589		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金	938	820			945				
		地方債									
		その他									
		一般財源	588	590			644				
	人件費(B)		7,202	7,202			7,202				
事業費計(A+B)		8,728	8,612	8,791							
事業の目的		北海道実施の「北海道自殺対策行動計画」及び第3次健康増進計画（自殺対策推進計画及び生きるを支える苫小牧市自殺対策行動計画包含）に基づき、自殺予防対策を強化します。									
事業の内容  SDGs17の目標  		<p>下記の取組を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ゲートキーパー養成講座 身近な人の自殺のサインに気付き、相談に応じたり、関係機関へつなげる人材を育成</li> <li>メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」の活用 市ホームページのメンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」等を活用し、命とこころの健康を守る取組を強化</li> <li>自殺予防パネル展の実施 パネル展示やストレスチェック、こころの健康グッズ配布等による普及啓発</li> <li>相談事業の実施 こころの悩みに関する相談に応じ、必要に応じ専門職につなぎ連携し対応</li> <li>講演会の実施（一般市民・若年） 市民が自身や身の回りの人のこころの不調に気付きセルフケアできるよう、正しい知識を普及啓発</li> <li>自殺実務者ネットワーク会議 自殺対策に携わる実務者が支援状況や課題等について情報共有し、支援体制を向上</li> <li>専門職人材育成研修 こころの健康に携わる専門職のスキルアップ</li> </ol>									
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度				
		ゲートキーパー養成講座		回	6	6	6				
		「こころの体温計」アクセス数		回	29,052	30,236	31,720				
		こころの相談日		回	12	12	12				
項目評価		高 → 低		評価の理由							
		4	3					2	1		
		有効性	●								苫小牧市の自殺者は毎年増減を繰り返しており、自殺予防に携わる人材育成、自殺予防に関する知識の普及、こころの相談に対する相談窓口等は必要であるため、「4」としました。
		効率性	●								メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」を活用により、ストレスを感じる方が自身のタイミングでストレス度を確認できるため、「4」としました。
公平性	●				苫小牧市ホームページや「広報とまこまい」により、こころの相談窓口や、自殺対策に携わる人材育成講習等の周知を行っているため、「4」としました。						
事業の課題 今後の方向性		今後も関係機関と連携を図りながら、こころに不安を抱える方への相談体制の拡充を図っていきます。					事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020304

事業名		中学生へのピロリ菌検査・除菌支援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	2,509	1,849	2,589				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	2,509	1,849					2,589
	人件費(B)	1,440	1,440	1,440					
事業費計(A+B)	3,949	3,289	4,029						
事業の目的		胃がん、慢性胃炎及び胃・十二指腸潰瘍等の主な原因となるピロリ菌について、若年期の内に検査・除菌することにより、将来的なそれらの病気の予防や子どもへの感染を予防できることから、中学2年生を対象に行います。							
事業の内容		SDGs17の目標  <p>下記の内容で実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者 苫小牧市内に居住する中学2年生で保護者の同意があった者</li> <li>検査等の内容                         <ol style="list-style-type: none"> <li>尿中抗体検査（一次検査 ※学校保健安全法による尿検査と同時に実施）</li> <li>尿素呼気試験（二次検査 ※一次検査陽性者が対象）</li> <li>除菌治療（投薬治療及び除菌判定 ※二次検査陽性者が対象）</li> </ol> </li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		一次検査受検率	%	89.5	88.9	87.4			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				各検査いずれも高い受検率となっていることから、「4」としました。 ※一次検査受検率87.4%、二次検査受検率96.2%			
効率性		●				学校保健安全法による尿検査と同時に一次検査を行うことにより、効率的に実施できているため、「4」としました。			
公平性		●				保護者から同意が得られた全ての中学2年生を対象としているため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		将来的な胃がん、慢性胃炎等の予防や子どもへの感染予防の観点から、学校保健安全法による尿検査との同時実施を継続します。				事業終了の 予定の有無  無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020305

事業名		歯周病検診事業		担当部署	健康こども部 健康支援課						
根拠法令		健康増進法									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価					
	予算・決算額(A)		5,496	4,972			6,101		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>		
	(A)の内訳	国道支出金	3,581	2,764			3,524				
		地方債									
		その他									
		一般財源	1,915	2,208			2,577				
	人件費(B)		2,881	2,881			2,881				
事業費計(A+B)		8,377	7,853	8,982							
事業の目的		成人期は歯周病に罹患する人が増加する時期であることから、特定の年齢に達した方々を対象に、健康増進法に基づく歯周病検診を実施します。									
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>特定の年齢に達した方々に対し、歯周病検診受診券を発送し、歯周病検診の受診勧奨を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>受診券対象者 20・30・40・50・60・70歳男女</li> <li>検診費用 540円（満70歳の方、市民税非課税世帯、生活保護世帯の方は無料）</li> <li>有効期限 対象年齢の誕生日を迎えてから、次の誕生日の前日まで</li> </ol>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		受診券発送件数			回	9,562	9,517	12,092			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性			●						令和6年度の受診者のうち、43%が要精密検査となり、このうち63%の方が精密検査の受診につながっているため、「3」としました。		
効率性			●						6月と9月の2回に分けて受診券を発送し、受診勧奨を図っているため「3」としました。		
公平性		●				対象者全員に受診券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		歯周病は、歯の喪失をもたらす疾患であり、成人期における有病率等も高く、全身疾患や生活習慣との関係が注目されていることから、今後も予防対策を推進していきます。					事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

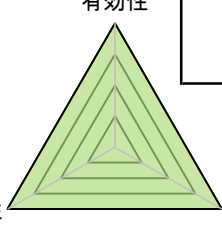

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020306

事業名		健考・健幸DAY事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	1,036	816	-				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,036	816					
	人件費(B)	2,161	2,161	-					
事業費計(A+B)	3,197	2,977	-						
事業の目的		市民の健康意識の向上と健康寿命の延伸に向け、健康について考える日「健考・健幸DAY」を実施します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>【健考・健幸DAY2024】                      苫小牧市の健康課題である肥満の改善につながるよう、公益財団法人苫小牧市スポーツ協会が実施する「とまこまいスポーツフェスティバル」と「健考・健幸DAY」を合同開催し、運動と食と健康に関連したコラボレーション事業を実施しました。</p> <p>日時：令和6年10月14日（月）                      概要：「肥満」をテーマに、こども・子育て世代を対象とし「スポーツフェスティバル2024」イベント内スポーツEXPOとしてブース出展                      詳細：親子で楽しく学べる「生野菜の重さ当てゲーム」をはじめ、こころの体温計、連携企業の協力のもとベジチェックなど、全3種の体験ブースを実施                      実人数238名、延べ人数437名が参加</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		健考・健幸DAY参加者数			人	99	100	238	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				普段健康支援課で実施するイベントには参加が少ない若い世代に対するアプローチができたため、「4」としました。			
効率性		●				スポーツフェスティバルの合間時間等を利用して、健康に関する体験ができたため、「4」としました。			
公平性		●				市民に広く周知し、対象者層以外の方が希望する場合は年齢に関わらず参加が可能なため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		今後も幅広く健康に関する知識に触れられる機会をつくり、ご自身の生活習慣を振り返るきっかけになる事業を企画していきます。					事業終了の 予定の有無		
							有 (令和6年度)		
特記事項		令和7年度から「健康都市推進事業」に統合							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020307

事業名		夜間・休日急病センター開設経費		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性	総合評価  <b>A</b>		
	予算・決算額(A)		9,064	9,064			9,071	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		9,064	9,064			9,071	
	人件費(B)		360	360			360	
事業費計(A+B)		9,424	9,424	9,431				
事業の目的		平成20年度に建設した夜間・休日急病センターについて、家賃等相当分として建設費の元利償還金分を支払います。						
事業の内容 SDGs17の目標 		夜間・休日急病センターの建設費元利償還金分を支払いました。 ※建設費元利償還金総額 平成21年度～令和15年度 191,886千円						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		夜間・休日急病センター開設経費補助金		千円	7,671	9,064	9,064	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						夜間・休日における急病患者の医療確保につながるため、「4」としました。
効率性		●						より少ない人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。
公平性		●				一次救急医療の拠点として広く一般市民が利用できる施設であるため、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		休日当番医とともに地域における救急医療体制の整備を図り、引き続き、急病患者の医療体制を確保していきます。				事業終了の 予定の有無  有 (令和15年度)		
特記事項								

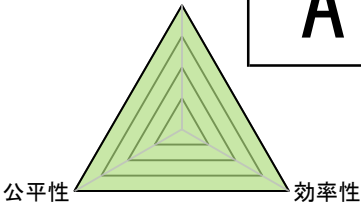

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020308

事業名		苦小牧市保健センター建設費補助		担当部署	健康こども部 健康支援課						
根拠法令											
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性 	総合評価  <b>A</b>				
	予算・決算額(A)		40,104	40,103	40,104						
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他									
		一般財源	40,104	40,103	40,104						
	人件費(B)		360	360	360						
事業費計(A+B)		40,464	40,463	40,464							
事業の目的		平成26年度に建設した苦小牧市保健センターについて、家賃相当分として建設費の元利償還金分を支払います。									
事業の内容  SDGs17の目標  		<p>苦小牧市保健センターの建設費の元利償還金分を支払いました。</p> <p>※建設費元利償還金総額 平成27年度～令和26年度 1,203,161千円</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		苦小牧市保健センター建設費補助金			千円	40,103	40,103	40,103			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							保健センターにおける各種健康診査等の実施により、市民の健康保持及び増進に寄与しているため、「4」としました。		
効率性		●							より少ない人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。		
公平性		●				市民の健康保持及び増進を図るために設置した施設であり、広く市民が利用できるため、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		各種健康診査の実施等、市民の健康保持及び健康増進につながる取組を今後も行っていきます。					事業終了の 予定の有無  有 (令和26年度)				
特記事項											


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020309

事業名		就学前フッ化物洗口支援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		333	226			286		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金	116	103			101		
		地方債							
		その他							
		一般財源	217	123			185		
	人件費(B)		1,440	1,440			1,440		
事業費計(A+B)		1,773	1,666	1,726					
事業の目的		幼児（就学前）のフッ化物使用により、丈夫な歯質が作られ、就学前後に生え始める永久歯に効果が得られることから、虫歯予防のためのフッ化物洗口事業を支援します。							
事業の内容  SDGs17の目標  		1 年長児を対象としたフッ化物洗口を実施する市内の保育・幼児施設に対し、使用する薬剤を提供し継続的な実施を支援しました。  2 フッ化物洗口の実施内容 (1) フッ化物薬剤（オラブリス）を水に溶かして0.1%の洗口液を作ります。 (2) 洗口液5mlをコップへ注ぎ、1分間うがいを行います。 (3) 上記を週2回実施します。							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		実施園		件	26	26	27		
		実施園児数		人	455	514	639		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				就学前の幼児は、永久歯が生え始める時期で、この時期からフッ化物洗口を行うことにより丈夫な歯質が作られ、虫歯予防のひとつとして有効であることから、「4」としました。			
効率性		●				フッ化物洗口は、少ない費用で実施できることから「4」としました。			
公平性			●			1園が新規にフッ化物洗口を開始した一方、未実施の園もあることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		今後もフッ化物洗口の有効性や実施時の感染対策について周知しながら、事業を推進していきます。					事業終了の 予定の有無  無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020310

事業名		健康都市推進事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令		健康増進法、北海道受動喫煙脳死条例、苫小牧市受動喫煙防止条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	756	401	1,900				B	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他		72					
		一般財源	756	329					1,900
	人件費(B)	720	720	720					
事業費計(A+B)	1,476	1,121	2,620						
事業の目的		喫煙が及ぼす健康への影響について、正しい知識の普及啓発を図るとともに、民間施設における分煙設備などの整備に対する助成を行い、受動喫煙のないまちを目指します。							
事業の内容 SDGs17の目標		以下の事業を行いました。 【受動喫煙防止対策助成金】 民間施設における分煙設備などの整備に対し、国の受動喫煙防止対策助成金に上乘せし、助成金を交付 【飲食店全面禁煙化補助金】 店舗を全面禁煙化する既存特定飲食提供施設に対し、店舗改装等に要する費用の一部を補助 【ホワイト500・ブライツ500認定企業表彰】 経済産業省所管の日本健康会議が認定している、健康経営優良法人ホワイト500・ブライツ500を取得した市内の企業へ敬意を表し表彰 【すこやかロードウォーキング事業】 すこやかロードの認定に伴い、スポーツ都市推進課とのコラボレーション事業を実施 【健康アンバサダー養成事業】 健康に関する広報や普及啓発活動を行う健康アンバサダー（伝道師）を養成							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		苫小牧市空気もおいしい施設認定件数		件	0	1	25		
		健康経営優良法人表彰数		社	-	1	2		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性			●					各種助成金の申請はありませんでしたが、苫小牧市空気もおいしい施設の認定数は増加しており、本市の受動喫煙対策は進んでいることから、「3」としました。	
効率性			●					苫小牧商工会議所を通して市内の企業に健康経営及び苫小牧市空気もおいしい施設のリーフレットを配付し、広く啓発活動を行うことができたため、「3」としました。	
公平性		●				健康経営の推進や受動喫煙の防止に向けた取組は、全ての市民、事業者の健康の保持・増進につながることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		改正健康増進法において、受動喫煙防止に向けた取組の推進は地方公共団体の責務であり、引き続き効果的かつ効率的に事業推進を図ります。				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

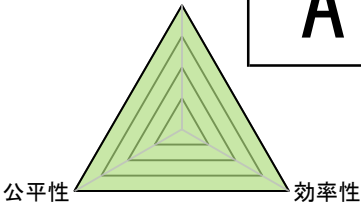

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020311

事業名		健康支援・医療施設機器整備事業		担当部署	健康こども部 健康支援課						
根拠法令											
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価  有効性  公平性 効率性	総合評価  <b>A</b>				
	予算・決算額(A)		9,064	9,064	941						
	(A)の内訳	国道支出金	9,000	9,000	900						
		地方債									
		その他									
		一般財源	64	64	41						
	人件費(B)		216	216	216						
	事業費計(A+B)		9,280	9,280	1,157						
事業の目的		苫小牧市保健センター及び夜間・休日急病センターで使用する医療機器を整備します。									
事業の内容 SDGs17の目標 		以下の機器を整備しました。 ・ FPDシステム 一式 ・ 婦人科健診診療ユニット 1台 ・ 自動視力計 1台									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		整備費用			千円	2,079	3,728	9,064			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							機器を整備し、診療等を実施することにより、市民の健康保持及び増進につながるため、「4」としました。		
効率性		●							時間を要することなく、迅速に環境を整備することができたため、「4」としました。		
公平性		●				夜間・休日急病センターは、広く市民が利用できる施設であるため、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		国の交付金を活用した時限的な事業ですが、今後も財源を確保しながら必要な整備を実施します。					事業終了の 予定の有無  無				
特記事項		令和4年度は「保健センター医療機器整備事業」、令和5年度は「夜間・休日急病センター医療機器整備事業」として実施しています。									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020312

事業名		夜間・休日急病センター整備費補助		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		1,958	1,957			-		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,958	1,957					
	人件費(B)		360	360			-		
事業費計(A+B)		2,318	2,317	-					
事業の目的		夜間・休日急病センターの電気設備及び空調設備が老朽化し、診療業務に支障を来すため、所有者である一般財団法人ハスカッププラザへ設備改修費用を補助します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>下記の整備費用に対し補助を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備改修（非常用予備発電装置始動用蓄電池の交換等）</li> <li>・空調設備改修（パッケージエアコンの室外機部品の交換）</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		整備費用			千円	9,229	5,379	1,957	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				費用を補助することにより、施設の電気及び空調設備の改修を実施できたため、「4」としました。			
効率性		●				時間を要することなく、迅速に環境を整備することができたため、「4」としました。			
公平性		●				苫小牧市夜間・休日急病センターは、広く市民が利用できる施設であるため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		施設建設後15年以上が経過し、今後も施設の予防保全と計画的な整備が必要になります。					事業終了の 予定の有無		
							有 (令和6年度)		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020401

事業名		公衆浴場設備整備助成金		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令		苫小牧市公衆浴場助成要綱							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	960	688	1,500				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	960	688					1,500
	人件費(B)	720	720	720					
事業費計(A+B)	1,680	1,408	2,220						
事業の目的		<p>公衆浴場法第2条第1項による許可を受けたものであって物価統制令第4条により入浴料金が定められている公衆浴場に対し補助（助成）金を交付することにより、公衆浴場経営の安定を図るとともに、高齢者等が利用しやすい公衆浴場づくりを推進し、市民の保健衛生の向上に資することを目的とします。</p>							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 公衆浴場設備整備助成事業について 大豊湯における温度調節器、ろ過器更新に係る助成金を交付しました。なお、助成先については、前年度の予算概算要求前に市内公衆浴場に対して意向調査を実施した上で決定しています。</p> <p>【参考】 ○公衆浴場の経営に必要な設備の整備 ・対象経費 公衆浴場の内釜、元釜、パーナー、温水器、温度調節器、ろ過器、廃油燃焼器、煙突及び塩素滅菌器の設置又は更新（設備ごとに助成限度額あり） ・助成額基準 入浴率100%以上200%未満 補助対象設備の基準額の6分の1 入浴率80%以上100%未満 補助対象設備の基準額の3分の1 入浴率80%未満 補助対象設備の基準額の2分の1 （入浴率とは、平均入浴客数を基準入浴客数で除して得た数） ○高齢者等に配慮した設備の整備 ・対象経費 男女各浴室内の主浴槽への手すりの設置 ・助成額基準 設置経費の2分の1以内（限度額68,000円）</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		助成件数		件	1	1	1		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				公衆浴場の経営が困難な状況において、改修費用の捻出が厳しいことから、当該助成事業の有効性は高いものと考え「4」としました。			
効率性			●			可能な限り早い段階で浴場経営者への聞き取りを実施し、漏れがなく効果的な事業となるよう意識しており「3」としました。			
公平性		●				市民の生活衛生の向上に資することから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		<p>市内の公衆浴場は、施設の老朽化、近年の物価や燃料費高騰等の影響などにより、依然として厳しい経営状況にあります。公衆浴場は、市民の生活衛生の向上、高齢者等の安全・安心な生活環境の確保に欠かせない施設であり、本事業の継続及び支援内容の拡充について検討する必要があると考えています。</p>					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項		<p>令和7年度より事業統合され「公衆浴場支援事業費」となります。</p>							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020402

事業名		公衆浴場確保対策事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令		公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律、苫小牧市公衆浴場助成要綱							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	750	750	-				A	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	750	750					
	人件費(B)	720	720	-					
事業費計(A+B)	1,470	1,470	-						
事業の目的		公衆浴場法第2条第1項による許可を受けたものであって物価統制令第4条により入浴料金が定められている公衆浴場に対し補助（助成）金を交付することにより、公衆浴場の確保を図り、市民の保健衛生の向上に資することを目的とします。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 公衆浴場確保対策事業について 松の湯、公園湯、大豊湯に対し補助金を交付しました。他に公衆浴場の経営支援策として、下水道料金の負担軽減、固定資産税の減免等を行っています。</p> <p>【参考】 ○助成額基準 ・入浴率が60%未満 500,000円 ・入浴率が60%以上70%未満 300,000円 ・入浴率が70%以上80%未満 200,000円 ・入浴率が80%以上100%未満 125,000円 (入浴率とは、平均入浴客数を基準入浴客数で除して得た数)</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		助成件数	件	3	3	3			
項目評価		高 → 低	評価の理由						
		4 3 2 1							
有効性		●				公衆浴場経営が困難な状況において、入浴率が低い公衆浴場経営者に対するこの補助金の有効性は高いものと考え「4」としました。			
効率性			●			可能な限り早い段階で浴場経営者への聞き取りを実施し、漏れがなく効果的な事業となるよう意識しており「3」としました。			
公平性		●				市民の保健衛生の向上に資することから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		市内の公衆浴場は、施設の老朽化、近年の物価や燃料費高騰等の影響などにより、依然として厳しい経営状況にあります。公衆浴場は、市民の生活衛生の向上、高齢者等の安全・安心な生活環境の確保に欠かせない施設であり、本事業の継続及び支援内容の拡充について検討する必要があると考えています。				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項		令和7年度より事業統合され「公衆浴場支援事業費」となります。							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020403

事業名		霊葬場整備事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課		
根拠法令		墓地、埋葬等に関する法律、苫小牧市高丘霊葬場条例					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	18,920	18,920	33,990			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
	一般財源	18,920	18,920	33,990			
	人件費(B)	1,440	1,440	1,440			
事業費計(A+B)	20,360	20,360	35,430				
事業の目的	高丘霊葬場は、人生終焉の場として市民生活に不可欠な施設であります。平成9年度の供用開始から28年が経過し火葬炉設備等の劣化が著しいことから、火葬炉設備の計画的な点検や設備整備を行い、安定的に施設を運営します。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>霊葬場整備事業について</p> <p>安定的な事業を継続するため、次の設備の整備・交換を行いました。なお、整備箇所については、前年度の点検結果に基づき、緊急性の高い箇所を選定しています。</p> <p>主な工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炉内台車耐火物取替（3台分）</li> <li>・主燃セラミック全面交換（3号炉）</li> <li>・再燃焼炉全体積替（3号炉）</li> </ul>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	火葬件数		件	2,350	2,318	2,415	
	会葬者数		人	27,178	28,181	27,959	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性	●			施設の老朽化による小規模な故障等はあるが、安定的に事業の継続ができていることから、事業の有効性は高く、費用対効果についても高いものと考え「4」としました。		
	効率性	●			高丘霊葬場は止めることのできない施設であり、精度の高い保守点検により効率的な事業を実施していることから「4」としました。		
公平性	●			霊葬場指定管理者及び保守点検事業者とは必要に応じて意見交換の場を設け、十分な調整を行った上で事業の実施に努めています。また、市民の声を参考に施設管理の方法等の見直しを図っていることから「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	2040年頃まで火葬件数の増加が見込まれますが、安定運用を図るため、定期整備の実施に加え、令和6年度に策定した「高丘霊葬場長寿命化計画」に基づき、予防保全型の施設管理、改修を進めていきます。					事業終了の 予定の有無  無	
特記事項							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020404

事業名		霊園管理基金積立金		担当部署	環境衛生部 環境生活課																													
根拠法令		苫小牧市霊園管理基金条例																																
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価																												
	予算・決算額(A)	2,630	2,574	1,400				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>																										
	(A)の内訳	国道支出金																																
		地方債																																
		その他	2,630	2,574					1,400																									
		一般財源																																
	人件費(B)	720	720	720																														
事業費計(A+B)	3,350	3,294	2,120																															
事業の目的		霊園管理基金(以下「基金」という。)は、昭和57年7月から新規墓所の管理料を積立て、運用利息により霊園の維持管理費を賄うことを目的として設置しました。新規墓所貸付終了に伴い、霊園管理のための基金への積立ては終了し、現在は、共同墓の管理料の2分の1を将来予想される共同墓の修繕費用に充てるため、継続的に積立っています。																																
事業の内容		SDGs17の目標  基金の積立及び取崩しについて 基金について、下記のとおり積立て、取崩しを行いました。 ○平成18年度の条例改正により、基金の取崩しを可能にしました。 ○平成29年度の共同墓設置により、共同墓管理料の2分の1を積立てることとしました。  令和5年度末基金残高 18,872,662円 令和6年度基金積立金 2,574,000円 令和6年度基金取崩し額 ▲7,214,000円 令和6年度末基金残高 14,232,662円																																
実施結果 (活動指標)		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金の年度末残高</td> <td>千円</td> <td>40,446</td> <td>18,873</td> <td>14,233</td> </tr> <tr> <td>積立金額</td> <td>千円</td> <td>1,868</td> <td>2,524</td> <td>2,574</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	基金の年度末残高	千円	40,446	18,873	14,233	積立金額	千円	1,868	2,524	2,574													
指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度																														
基金の年度末残高	千円	40,446	18,873	14,233																														
積立金額	千円	1,868	2,524	2,574																														
項目評価		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基金は、これまでも霊園維持管理や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考え「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>新規墓所分の積立てが終了となり、今後は将来の共同墓の修繕を目的として基金に積立てすることとなることから「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平成18年度から基金の取崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで効果的に活用してきたことから「4」としました。</td> </tr> </tbody> </table>						高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				基金は、これまでも霊園維持管理や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考え「4」としました。	効率性		●			新規墓所分の積立てが終了となり、今後は将来の共同墓の修繕を目的として基金に積立てすることとなることから「3」としました。	公平性	●				平成18年度から基金の取崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで効果的に活用してきたことから「4」としました。
	高 → 低				評価の理由																													
	4	3	2	1																														
有効性	●				基金は、これまでも霊園維持管理や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考え「4」としました。																													
効率性		●			新規墓所分の積立てが終了となり、今後は将来の共同墓の修繕を目的として基金に積立てすることとなることから「3」としました。																													
公平性	●				平成18年度から基金の取崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで効果的に活用してきたことから「4」としました。																													
事業の課題 今後の方向性		令和6年度に新規墓所の貸付が終了し、新規墓所管理料から当該基金への積立ても終了しました。このため、現在は、共同墓の将来の修繕に係る基金のみ積立てを行っています。霊園の維持管理に係る経費は今後も必要であり、一般財源に加え、新たな基金財源の検討も必要と考えます。今後は、霊園の維持管理及び当該基金を含む霊園の維持管理経費の在り方について、検討してまいりたいと考えています。				事業終了の 予定の有無																												
特記事項		無																																

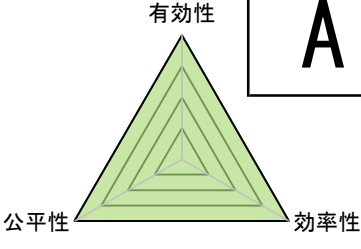

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020405

事業名		霊園改修等事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令		苫小牧市墓地条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	2,805	2,794	715				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	2,805	2,794					715
	人件費(B)	1,440	1,440	1,440					
事業費計(A+B)	4,245	4,234	2,155						
事業の目的	霊園内設備の老朽化等に伴う破損箇所について、来園者が安全・安心に参拝できるよう修繕等を実施します。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <ol style="list-style-type: none"> <li>高丘霊園及び高丘第二霊園内横断トラフ取替 老朽化により車両の通行に支障が生じていたトラフの舗装部分の修繕及びトラフ取替を実施</li> <li>高丘第二霊園ポンプ室の扉取替 老朽化した扉の取替を実施</li> </ol>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	高丘霊園及び高丘第二霊園改修		箇所	-	1	2			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
	有効性	●			高丘霊園及び高丘第二霊園ともに供用開始から相当長い年数が経過しており、利用者が安全に安心して墓参するために必要な改修であることから「4」としました。				
	効率性	●			改修により高丘第二霊園の水を安定的に使用できるようになったため、「4」としました。				
公平性	●			すべての利用者が安心・安全に利用できることから「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性	高丘霊園及び高丘第二霊園ともに供用開始から相当長い年数が経過しており、これまで毎年度必要な施設の改修を実施してきましたが、現在も、改修が必要な箇所がみられます。このことから、利用者が安全・安心に墓参できるよう必要な改修を実施していきます。					事業終了の 予定の有無			
特記事項	無								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020406

事業名		霊葬場大型炉整備事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課					
根拠法令		墓地、埋葬等に関する法律、苫小牧市高丘霊葬場条例								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)		74,360	74,360			-		<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債	55,700	55,700						
		その他								
		一般財源	18,660	18,660						
	人件費(B)		1,440	1,440			-			
事業費計(A+B)		75,800	75,800	-						
事業の目的		火葬件数は人口の高齢化に伴い増加傾向にあり、人口推計に基づく火葬件数のピークは2040年に年間2,500件と見込んでいます。火葬炉7炉体制ではピーク時の対応や定期的な火葬炉の修繕等を行う際に火葬件数の制限が必要になってしまうなど火葬場運営に支障をきたす恐れがあることから、円滑な火葬場運営を継続するため、8号炉を整備します。								
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>産わい炉（胞衣炉）の人体炉改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬炉入替（産わい炉→人体炉へ入替）</li> <li>・人体炉への入替に伴う炉前ホール改修（炉入口自動扉設置）</li> </ul>								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		火葬件数		件	2,350	2,318	2,415			
		会葬者数		人	27,178	28,181	27,959			
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●						新たな人体炉の整備により、今後想定される火葬件数の増加や定期的な炉の改修作業時においても火葬業務が円滑に行えることから、事業の有効性は高いものと考え「4」としました。	
		効率性	●						火葬業務に極力支障のないよう配慮を行った結果、火葬受け入れの制限等も行うことなく事業を完了することができたことから「4」としました。	
公平性	●				新たな人体炉を整備したことで、一日の火葬可能件数を増やすことができ、利用者に対するサービス向上につながるものと考え「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		当該施設はいかなる理由があっても業務を止めることができないことから、今後も安定的な運用を継続していくことが必要不可欠です。そのため、火葬炉の定期的な改修はもとより老朽化により支障をきたしている施設躯体の改修も実施していくことが必要です					事業終了の 予定の有無			
							有 (令和6年度)			
特記事項										

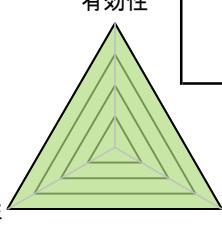

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020407

事業名		霊葬場長寿命化計画策定事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令		墓地、埋葬等に関する法律、苫小牧市高丘霊葬場条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	7,876	7,425	-				A	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	7,876	7,425					
	人件費(B)	2,161	2,161	-					
事業費計(A+B)	10,037	9,586	-						
事業の目的	<p>苫小牧市高丘霊葬場は、他に代替施設がないことから、突発的な設備の故障等による火葬の停止を未然に防止し、安定的に稼働させることが必要です。そのため、計画的に予防保全的な維持管理を行うことを目的に本計画を策定します。</p>								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <p>長寿命化計画策定業務 施設の躯体、設備機器等の現状を調査し、今後の修繕の必要性及び点検整備の優先順位を見極め、財政負担の平準化を図った長寿命化計画を策定しました。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	火葬件数		件	2,350	2,318	2,415			
	会葬者数		人	27,178	28,181	27,959			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
	有効性	●			長寿命化計画の策定により、従来の故障してから修繕を行うのではなく予防保全的な維持管理となることから「4」としました				
	効率性	●			長寿命化計画に基づき修繕等を行うことで財政負担の平準化も期待されることから「4」としました。				
公平性	●			霊葬場の安定的な運用は、全ての利用者に対するサービス向上につながるものと考え「4」としました					
事業の課題 今後の方向性	<p>当該施設はいかなる理由があっても業務を止めることができないことから、今後も安定的な運用を継続していくことが必要不可欠です。そのためにも、今後は策定した長寿命化計画に基づき予防保全的な維持管理を実施してまいります。</p>					<p>事業終了の 予定の有無</p> <p>有 (令和6年度)</p>			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020408

事業名		飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成		担当部署	環境衛生部 環境生活課			
根拠法令		動物の愛護及び管理に関する法律、北海道動物の愛護及び管理に関する条例						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	675	591	675			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	675	591				675
	人件費(B)	1,440	1,440	1,440				
事業費計(A+B)	2,115	2,031	2,115					
事業の目的		近年、猫の不適切な飼育による生活環境被害が増加しており、市民や町内会から対策を求められています。猫は非常に繁殖力が強く、本事業により野良猫の繁殖制限を推進することで、生活環境被害の抑制を目的とします。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>野良猫や遺棄された子猫等飼い主のいない猫の増加を抑制するため、市民や市内で活動する団体等が取り組む猫の不妊・去勢手術に係る費用の一部を助成し支援します。</p> <p>令和6年度実績    雄（去勢） 28頭 180,000円（雄1頭上限7,000円）                                               雌（不妊） 43頭 411,000円（雌1頭上限10,000円）</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		不妊・去勢実績		頭	-	-	71	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性			●			本事業により、野良猫の繁殖抑制に一定の効果はあるものと思われませんが、依然野良猫への無責任な餌やりによる生活環境被害に関する苦情が市に寄せられていることから「3」としました。		
効率性		●				本事業は、野良猫の繁殖抑制に直結することから、効率性は「4」としました		
公平性		●				本事業の対象者は、保護団体のみならず野良猫により生活環境被害を受けている市民や町内会等を対象としていることから「4」としました		
事業の課題 今後の方向性		本事業により、野良猫の繁殖抑制に一定の効果はあるものと思われすが、依然野良猫への無責任な餌やりによる生活環境被害に関する苦情が市に寄せられています。本事業を継続的に実施するとともに、無責任な餌やり等に対する指導も並行して取り組んでいく必要があります。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

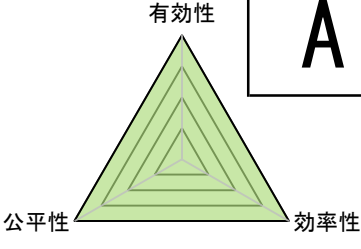


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 01清掃総務費

事務事業番号 04030101

事業名		ゼロカーボン×ゼロゴミ大作戦！（清掃事業）			担当部署	環境衛生部 ゼロゴミ推進課				
根拠法令										
予算・決算 （千円）	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)		5,097	3,657				-	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>有効性</span> <span>公平性</span> <span>効率性</span> </div>	A
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他								
		一般財源	5,097	3,657						
	人件費(B)		21,606	21,606				-		
事業費計(A+B)		26,703	25,263	-						
事業の目的		今回の「ゼロカーボン×ゼロゴミ大作戦！」は、<CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> （コツコツ）いこう♪次世代のために>をスローガンに掲げ、令和5～6年度の2か年で事業を実施します。ゼロカーボンシティの実現のため、省エネ、創エネをはじめ、ごみの減量・リサイクルの推進、自然環境保全など多方面からアプローチし、まちぐるみで様々な事業を展開します。								
事業の内容		SDGs17の目標   目指そう！資源が循環する053のまち 廃棄物の適正処理、資源循環型社会の実現に向けて4Rの推進に取り組みました。 1 プラスチック代替製品の利用促進、食品ロス削減運動 2 生ごみの減量、次世代市民へのリサイクル意識啓発、出前講座 3 ごみ拾いイベント、海岸清掃の実施								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		参加人数（延べ）			人	-	31,093	40,043		
		協力事業者数（延べ）			事業者	-	303	323		
		※ゼロカーボン×ゼロゴミ大作戦！（環境保全事業）等も含む								
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性		●				本事業の実施により、ゼロカーボン×ゼロゴミ大作戦！の意識の醸成が図られました。		
		効率性		●				限られた予算の中、事業者の協力により、効率的に実施することができました。		
公平性		●				広報・ホームページ・フェイスブック・SNSなど色々な媒体に工夫をしながら、市民周知ができました。				
事業の課題 今後の方向性		ゼロカーボン×ゼロゴミ大作戦！を通じて、高まった機運を活かし、更なる啓発に取り組みます。					事業終了の 予定の有無			
							有 (令和6年度)			
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 01清掃総務費

事務事業番号 04030102

事業名		一般廃棄物処理基本計画策定事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	6,156	6,155	-				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	6,156	6,155					
	人件費(B)	2,881	2,881	-					
事業費計(A+B)	9,037	9,036	-						
事業の目的	一般廃棄物処理基本計画は、法律に基づき策定するものであり、循環型社会の構築を目指し、本市のごみ処理や生活排水処理に関する課題、昨今の社会情勢等を考慮し、基本方針や数値目標、施策等を取りまとめ策定します。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>【苫小牧市一般廃棄物処理基本計画の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの排出、排出抑制・再資源化、収集運搬、中間処理、最終処分に関する現状分析と課題の抽出</li> <li>ごみ排出量、処理量等の将来推計</li> <li>国、道、市におけるごみ処理行政の動向について整理</li> <li>ごみ処理に係る基本理念、基本施策、基本目標の決定</li> <li>生活排水処理に係る基本理念、基本施策、基本目標の決定</li> </ul>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
有効性	●				法律に基づき策定しているものであり、今後の一般廃棄物処理の指針となるため「4」としました。				
効率性	●				本計画は、今後の事業展開の指針となるものであるため「4」としました。				
公平性	●				苫小牧市廃棄物減量等推進審議会やパブリックコメント、住民説明会を通し、幅広く意見を取り入れたことから「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」と「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、本計画に基づき、循環型社会及び脱炭素化社会へ向けた取組を進めていきます。					事業終了の 予定の有無  有 (令和6年度)			
特記事項									

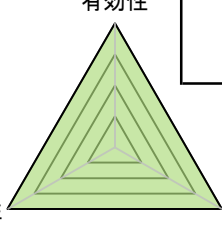


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030201

事業名		資源物中間処理事業			担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課					
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)	221,854	221,698	228,278			<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>				
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他	145,413	187,787				89,101			
		一般財源	76,441	33,911				139,177			
	人件費(B)	1,440	1,440	1,440							
	事業費計(A+B)	223,294	223,138	229,718							
事業の目的	「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、ごみとして出された資源物（プラスチック、缶、びん、ペットボトル、紙パック）を選別する中間処理業務を実施し、ごみの減量とリサイクルを推進します。										
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> </div> <p>各家庭からごみとして排出されたものを分別することで、資源物としてリサイクルするための中間処理事業を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 プラスチックの選別・資源化</li> <li>2 びん、ペットボトルの選別・資源化</li> <li>3 缶、紙パックの選別・売却</li> </ol>										
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度				
	リサイクル率			%	32.0	30.6	31.1				
	プラスチック資源化量			トン	2,652	2,617	2,483				
	資源物出荷量（缶・びん・ペット・紙パック）			トン	1,576	1,506	1,496				
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							ごみとして排出されたものを資源物としてリサイクルすることは、循環型社会の実現に有効な事業であるため「4」としました。		
	効率性	●							プラスチック類を一括回収することで排出を簡便にするとともに、委託事業者において不適物除去の効率化を図っているため「4」としました。		
公平性	●				全ての市民から排出されたごみをリサイクルする事業であるため「4」としました。						
事業の課題 今後の方向性	ごみとして排出された資源物を選別し、再商品化・資源化する本事業を通じて、今後も、循環型社会の構築を目指していきます。						事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030202

事業名		資源リサイクル運動推進事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課							
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例										
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価						
	予算・決算額(A)	198,079	191,727	231,374				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>				
	(A)の内訳	国道支出金										
		地方債										
		その他	161,846	156,845					195,560			
		一般財源	36,233	34,882					35,814			
	人件費(B)	21,606	21,606	21,606								
事業費計(A+B)	219,685	213,333	252,980									
事業の目的		「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、三つの基本テーマである「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を実施し、市民と事業者と行政が一体となって取り組みます。										
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭ごみ有料化に伴う事業を実施しました。                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 指定ごみ袋の物品購入業務</li> <li>(2) 流通管理業務委託</li> <li>(3) 手数料等徴収事務委託</li> <li>(4) 流通管理システム賃貸借</li> </ol> </li> <li>2 ごみの減量とリサイクルの推進に関わる事業を実施しました。                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 集団回収奨励金</li> <li>(2) リサイクルハウス設置助成</li> <li>(3) 生ごみ堆肥化容器助成、電動生ごみ処理機助成</li> <li>(4) 紙類、剪定枝、蛍光灯等資源化処理業務</li> </ol> </li> <li>3 まちの環境美化に関わる事業を実施しました。                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 環境美化活動助成金</li> <li>(2) ぼい捨て防止看板の設置</li> <li>(3) 監視カメラの設置</li> </ol> </li> </ol>										
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度				
		家庭ごみ排出量			トン	33,737	32,671	31,745				
		リサイクル率			%	32.0	30.6	31.1				
		不法投棄発生件数			件	58	63	72				
項目評価		高 → 低				評価の理由						
		4	3	2	1							
		有効性	●							ごみとして排出されたものを資源物としてリサイクルすることは、循環型社会の実現に有効な事業であるため「4」としました。		
		効率性	●							道内10万人以上の都市の中では、平成26年度以来、リサイクル率トップをキープしているため「4」としました。		
公平性	●				全ての市民が参加できるよう、町内会などの市民団体と協力して、各事業を実施しているため「4」としました。							
事業の課題 今後の方向性		これまでの取組により、ごみの排出量やリサイクル率は道内の主要都市でも高い水準を維持しています。「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の更なる高みを目指し、「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を展開していきます。					事業終了の 予定の有無					
							無					
特記事項												

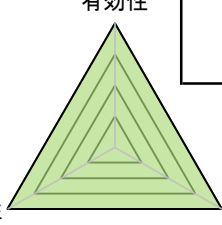

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030203

事業名		清掃統計処理システム事業			担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課		
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	916	915	916			<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳							
	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	916	915	916				
人件費(B)	1,440	1,440	1,440					
事業費計(A+B)	2,356	2,355	2,356					
事業の目的	ごみ排出量やし尿処理量等のデータは、現状分析や施策の企画立案、予算算定の基礎となります。これらのデータを適正かつ効率的に統計処理するため、清掃統計処理システムの定期的な保守管理を実施します。							
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>清掃統計処理システム保守を実施しました。</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●				本市のごみ排出量及びし尿処理量等の状況を把握するために、有効なシステムであるため「4」としました。		
	効率性	●				ごみ排出量及びし尿処理量等の膨大なデータを適正かつ効率的に統計処理しているため「4」としました。		
公平性	●				本システムのデータは、適正な予算の算出に利用されているため「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	本システムは、事業の企画立案や予算算出に必要であり、今後の社会情勢や市民ニーズの変化に応じてシステムの見直し等を行っていきます。						事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

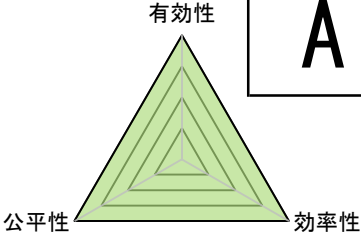


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030301

事業名		清掃施設ダイオキシン類測定分析業務			担当部署	環境衛生部 施設管理課			
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	3,080	3,080	3,761			A		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	3,080	3,080				3,761	
	人件費(B)	720	720	720					
事業費計(A+B)	3,800	3,800	4,481						
事業の目的		ダイオキシン類対策特別措置法第28条第1項及び第2項に基づき毎年1回以上、ダイオキシン類による汚染の状況を環境省が定める方法により測定分析するものです。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <p>環境省で定める方法により排ガス、飛灰、焼却灰、工場排水、地下水など22検体のダイオキシン類測定分析を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却施設 : 9検体</li> <li>・埋立処分場 : 13検体</li> </ul>							
実施結果		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
実施結果 (活動指標)		排出基準値超過件数		回	0	0	0		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				測定分析の実施により、基準値以内で施設を運転し、周辺の環境が保たれていることから、「4」としました。			
効率性		●				法令で定める方法に基づき、必要な検体数について測定分析を実施したことから、「4」としました。			
公平性		●				ごみ処理施設周辺の環境保全を確認したことから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		ダイオキシン類の測定分析及び国への報告義務は、法で定められており、施設周辺の環境保全のために本事業を継続していく必要があります。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030302

事業名		廃棄物処理施設整備基金積立金		担当部署	環境衛生部 施設管理課				
根拠法令		苫小牧市廃棄物処理施設整備基金条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	100,503	100,465	101,348				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	100,503	100,465					101,348
		一般財源							
	人件費(B)	0	0	0					
事業費計(A+B)	100,503	100,465	101,348						
事業の目的	今後の廃棄物処理施設整備を行うための財源の一部として積立てるものです。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <p>積立金の財源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ広域処理負担金 : 安平町、厚真町の廃棄物を処理した量に対する負担金</li> <li>・有料化財源 : 有料指定ごみ袋の収入</li> <li>・余剰電力売電収入 : 沼ノ端クリーンセンターの余剰電力売電収入</li> <li>・廃棄物処理施設整備基金運用利子 : 積立金運用利子</li> </ul> <p>令和5年度末基金残高 669,368,096円</p> <p>令和6年度基金積立金 100,465,183円</p> <p>令和6年度基金取崩し額 0円</p> <p>令和6年度末基金残高 769,833,279円</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	基金の年度末残高		千円	569,318	669,368	769,833			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							基金積立てにより、将来の大規模整備事業費用の一部を積立てることができたことから、「4」としました。
	効率性	●							計画どおり基金を積立てていることから、「4」としました。
公平性	●				ごみ処理に係る手数料や負担金などの収入の一部を積立てていることから、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	将来の大規模整備事業において、基金の一部を充当することで財政負担を軽減できることから、計画的な基金積立てを継続します。					事業終了の 予定の有無			
特記事項	無								

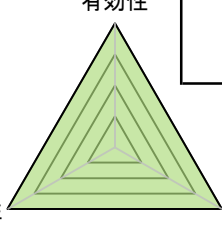
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030303

事業名		沼ノ端クリーンセンター整備事業		担当部署	環境衛生部 施設管理課					
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法、労働安全衛生法								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)	208,307	208,307	204,514			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>			
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債	156,200	156,200				153,300		
		その他						51,000		
		一般財源	52,107	52,107				214		
	人件費(B)	2,161	2,161	2,161						
	事業費計(A+B)	210,468	210,468	206,675						
事業の目的		廃棄物処理施設の安定した稼働と適正な処理を維持するために、法に基づく定期検査及び確認を行い、経年劣化部分に必要な整備を実施するものです。								
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">定期整備で摩耗損傷状態の確認を行い、経年劣化部分に必要な整備を行いました。</p> <p>【整備内容】                      燃焼設備／燃焼ガス冷却設備／受入供給設備／雑設備／電気計装設備／建築設備</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		故障による停止日数			日	0	0	0		
		廃棄物受入停止日数			日	0	0	0		
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
有効性	●				ごみ処理が安定的に継続されていることから、「4」としました。					
効率性	●				定期整備の結果、必要とされた整備を行っており、「4」としました。					
公平性	●				市民が排出したごみを処理する施設の整備であり、市民生活には不可欠なインフラ整備であるため、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		衛生的な市民生活に欠かせないごみ処理施設の安定的な稼働のために、今後も整備事業を継続することが必要不可欠です。					事業終了の 予定の有無  無			
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 04し尿処理費

事務事業番号 04030401

事業名		西町し尿処理施設改修事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	2,409	1,885	2,348				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	2,409	1,885					2,348
	人件費(B)	3,601	3,601	3,601					
事業費計(A+B)	6,010	5,486	5,949						
事業の目的	し尿処理施設は、一般廃棄物である汲取便所のし尿や浄化槽の汚泥を処理するための施設です。当施設は、運転開始から40年が経過し各設備の老朽化が進行しておりますが、計画的に整備や補修を実施することで、安定的にし尿及び汚泥の処理を行います。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <p>施設整備及び補修を実施 し尿投入槽シーリング水ポンプ整備工事</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>14 海の豊かさを守ろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> </div> </div>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	し尿処理量		kℓ	11,172	11,269	11,135			
	汚泥処理量		kℓ	4,131	4,407	4,428			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●			し尿及び汚泥処理を継続するために必要な事業であり、かつ、市民や事業者にとって必要不可欠な事業であるため、「4」としました。				
	効率性		●		本事業により、し尿及び汚泥処理を効率的に処理できることから、「3」としました。				
公平性		●		対象は、下水道認可区域外の市民や事業所となるが、地域の生活環境の改善や環境汚染防止につながるため「3」としました。					
事業の課題 今後の方向性	令和7年4月に策定した東胆振定住自立圏共生ビジョンに則り、し尿処理及び浄化槽汚泥処理の効率化を図るため、圏域内で排出されるし尿処理の共同化に向けて、関係機関と取組を進めていく必要があります。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 04し尿処理費

事務事業番号 04030402

事業名		合併処理浄化槽設置整備事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	1,500	0	1,500				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">B</div>	
	(A)の内訳	国道支出金	130						130
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,370						1,370
	人件費(B)	1,440	1,440	1,440					
事業費計(A+B)	2,940	1,440	2,940						
事業の目的		下水道認可区域外の市民を対象に、単独浄化槽や汲取り便所から合併処理浄化槽への切替を促進し、適正に維持管理することで、生活環境の改善や河川等の汚濁を防止します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">   <small>住み続けられるまちづくりを</small> </div> <div style="text-align: center;">   <small>つくる責任 つかう責任</small> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>合併処理浄化槽の設置促進に係る周知の実施 浄化槽設置整備事業補助金交付制度を活用し、合併処理浄化槽未実施世帯へ周知を行うとともに、現地聞き取り調査や市ホームページにおいて周知</li> <li>適正な指導の実施 浄化槽法第7条及び第11条に規定されている定期法定検査について、未受検者や検査結果が不適正となった世帯や企業に対し、適正な指導を実施</li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		合併処理浄化槽設置補助件数（住宅用）	件	0	1	0			
		事業所からの合併処理浄化槽設置申請受理件数	件	14	20	22			
		浄化槽維持管理基準値達成割合	%	100	100	100			
項目評価		高 → 低	評価の理由						
		4 3 2 1							
有効性		●				生活環境の改善や環境汚染防止のため、下水道認可区域外の市民や事業者から出る排水を処理する必要があることから、「4」としました。			
効率性			●			浄化槽設置整備事業補助金交付制度の申込みは無かったが、公共下水道と合併処理浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率は99.9%に達成していることから、「3」としました。			
公平性			●			対象は、下水道認可区域外の市民や事業所となるが、地域の生活環境の改善や環境汚染防止につながるため「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		公共下水道と合併処理浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率は99.9%を達成しています。今後も100%を目指し粘り強く制度の周知を図り、合併処理浄化槽の普及拡大に努めていきます。				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									